

6月

令和5年度 生涯学習情報

まなび ましよう

令和5年6月8日発行

3号

大桑村教育委員会・大桑村公民館
大桑村歴史民俗資料館・大桑村図書館

6月 大桑村図書館 大桑村歴史民俗資料館 イベントカレンダー

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
	企画展示：タイトルが気になる（～7月23日まで）				押しレコ！〈お試し版〉	
			企画展：三宅策郎作品展（～6月18日まで）			
5	6	7	8	9	10	11
休 休	企画展示：タイトルが気になる					
	企画展：三宅策郎作品展					
12	13	14	15	16	17	18
休 休	企画展示：タイトルが気になる				まめっこおはなし会	図書館 de シネマ 上映作品 博士の異常な愛情 〈珈琲とドーナツの回〉
	企画展：三宅策郎作品展					
19	20	21	22	23	24	25
休 休	企画展示：タイトルが気になる				さわってみよう！ デジとしょ信州	
26	27	28	29	30		
休 休	休 蔵書整理日	企画展示：タイトルが気になる				

企画
展示

タイトルが気になる

図書館の書棚を整理していると、気になるタイトルの前で足が止まり、手に取って読んでみたい衝動にかられます。表紙をめくると、思ってもみない展開が待っていたり、今まで知らなかった事柄に巡り合えたりします。今回は「タイトルが気になる本」を集めてみました。

期間 令和5年5月31日（水）～7月23日（日）

イベント

まめっこおはなし会

言葉遊びを覚え始めた、2歳児を対象としたおはなし会です。どなたでも参加できます。図書館横のキッズルームで、一緒に手遊びやお話を楽しみませんか。

日程 令和5年6月16日（金）
10:00～

話者 図書館スタッフ ほか

イベント

さわってみよう！
デジとしょ信州

ログイン方法や本の検索など、デジとしょ信州の便利な使い方をご案内します。ご自身のスマートフォンやタブレット端末等をご持参ください。

日程 令和5年6月24日（土）
14:00～16:00
（時間内随時受付）

イベント

押しレコ！
Track1

みなさんの持ち寄る“押し”のレコードたちを、図書館で流します。ご自宅の押し入れに眠る名盤に、久しぶりに針を落とししてみませんか。

日程 令和5年7月1日（土）
13:00～17:00

新着本

今月の一冊



『シニア暮らしにちょうどいい
2人分献立』

岩崎 啓子 / 著
ワン・パブリッシング 596 / イ

シニア世代におすすめの献立を紹介。食材のムダがでない3日間使い切り献立など、2人分にちょうどいい2品献立を提案します。栄養バランスがよいのに、簡単に作れるレシピが満載！

大桑村
図書館
HP



おおくわ
ブック
ナビ
（蔵書検索）



図書館
新着本



デジ
としょ
信州



（市町村と県による協働電子図書館）

お問合せ

大桑村教育委員会 0264-55-1020（8:30-17:15 ※土日祝休み）
大桑村歴史民俗資料館 0264-55-3550（9:00-16:30 ※月曜休館）
大桑村図書館 0264-55-2321（10:00-18:00 ※月曜・毎月最終火曜休館）

開催報告

大桑村に芝居小屋があったころ～中山座展～

4月22日(土)～5月14日(日)開催 (来館者291名)

明治初期から昭和初期まで、村内にあった芝居小屋「中山座」の芝居小道具・台本・襖絵・升席表などを展示しました。

参加者の声

- 芝居小屋があったと、話には聞いていたが具体的には何も知らなかった。新聞を見て是非知りたと思って来ました。(村内70代)
- 中山座の事、特に升席の版木を初めて見たので、びっくりしました。(塩尻市60代)
- こんな貴重なもん、よう残してくれたと思う。(村内90代)
- 立派な背景画なども作られ、本格的に芝居が行われていたんですね。資料がこのようなに残っていることを大事にしたいと思いました。前回のイラストレーターの方の作品展、今回の中山座の資料の展示、今までになかった展示がされていて、興味深く見させてもらっています。(村内70代)
- 歴史を伝える施設って本当に大切ですね。残せるものを残せる人が今やっている。とっても大切なことです。(滋賀県70代)
- いいものをみせてもらい発想のすごさに感動しました。(村内80代)



ふすま絵を見る来館者

ご参加・ご来館ありがとうございました!



寄贈品紹介

日本画家 折井宏光氏の油彩画「須原の花摘み」をご寄贈いただきました。

折井氏が昭和52年頃須原に来た際に、幸田露伴の『風流伝』をモチーフにして描いた作品のようです。白木正さん(須原)の仲介で、林敦子さん(塩尻市)より寄贈されました。林さんは、母親の故郷・須原を描いた絵が、少しでも地域の役に立てればと寄贈して下さいました。



※ 資料館への寄贈は、全てお受けできるとは限りませんのでご了承ください。

講演会

「大正大水害から100年 — 開発・労働力・エネルギー —

7月1日(土)～7月23日(日)開催の「大桑村災害の記録展」にあわせて講演会を開催します。

日程 令和5年7月8日(土)
13:30～15:00

講師 笹本 正治 氏 (長野県立歴史館特別館長)

会場 大桑村役場 多目的ホール

申込 大桑村歴史民俗資料館 (TEL 裏表紙記載)



サヨリ沢、長野東志波宅付近
(大正12年7月20日)

先人の残した“男岩・女岩”の記録を辿って

村外の方から、資料館に以下のようなお問い合わせがありました。

江戸時代末の先祖が残した古文書を頼りに、中山道を歩いている。先祖は須原宿の手前で「めずらしき石」と記していた。また、このあたりには男岩・女岩の民話があると聞いた。以下の内容を教えてほしい。

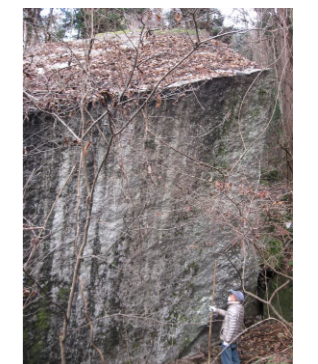


鉄道建設のため割られる男岩・女岩

- 【Q1】男岩・女岩の民話は本当にあるか
- 【Q2】昔の男岩・女岩の写真が見たい
- 【Q3】かつて男岩・女岩のあった場所はどこか

そこで、大桑村に関する資料をもとに“男岩・女岩”について調べてみました。

- 【A1】『大桑村の歴史と民話』志波英夫著 p243、および『須原(復刻版)』須原明治百年記念事業委員会編 p241～242に、男岩・女岩に関する民話が掲載されていました。
- 【A2】『写真で見る100年』大桑村編 p14に、鉄道建設のため割られる男岩・女岩の写真が掲載されていました。
- 【A3】『須原(復刻版)』p359に「男岩女岩は鉄道線路より奥300m位の松沢に有り」と記述がありました。この記述を頼りに、実際に松沢沿いを探索すると、鋭く割られた巨岩を発見しました。



発見した巨岩
高さは10m近い

このような問い合わせがあった際、今回紹介した資料のお陰で、地元でも埋もれかけた歴史に辿り着くことができます。改めて貴重な記録を残してくれた、先人の業績に感謝です。